

「現代の日本と世界」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関意	思判表	知技理
(1)	宮崎県と全国の経済成長率のグラフに共通してみられる特徴として、「高度経済成長」を答えさせる基本的な問題である。	内容(6)ーイのうち、高度経済成長と石油危機を中心とした活用問題である。 授業で学んだことを、宮崎県に関する具体的事例に転用させながら、高度経済成長や石油危機が我が国の経済に及ぼした影響などについての理解深化を図ることをねらいとしている。			◎
(2)	宮崎県や日本の経済成長率が下がった原因について、資料3の原油の輸入価格の変化から既習事項である石油危機を読み取る問題である。	問題を解く際には、グラフの変化と既習知識とを結び付けたり、社会の変化を想起したりするなどして、授業で学んだことを転用させていくことが大切である。	◎	○	○
(3)	宮崎県の女性の労働者数の推移について、簡単な指数計算を行った上でグラフに作図する技能を問う問題である。	また、グラフを作成したり、複数の資料における多様な情報から、必要な情報を的確に読み取ったりする技能も大切である。		◎	
(4)	宮崎県の女性の労働者数の推移から読み取れる「女性の社会進出」について、資料ア～ウのうちから適切な資料を選択し、仮説を立てることができるかを見る問題である。		◎	◎	